

マツガードを使ったら、

「マツの葉がきれいになった！」

とのお声をいただきました。

施工例

処理前 (2016年12月12日)



処理後 (2017年10月30日)



処理前 (2016年12月12日)



処理後 (2017年10月30日)



無処理のマツの葉

千葉県Aゴルフ場

マツノザイセンチュウだけでなく、
ハダニにも効果が認められている樹幹注入剤です。

マツガードの有効成分ミルベメクチンは微生物が作る天然物で
果樹や野菜のハダニ防除剤として有機栽培の時も使える成分です。

松枯れ防止樹幹注入剤

マツガード®

種類名：ミルベメクチン乳剤

農林水産省登録第20403号

マツガードは三井化学アプロ(株)の登録商標です。



マツガード®

【有効成分】 ミルベメクチン …………… 2.0%
 有機溶剤、乳化剤等 …………… 98.0%
 【性状】 淡黄色澄明液体 【毒性】 普通物※ 【危険物】 一石・II
 【有効年限・包装】 4年・60mL×80、180mL×40

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物、の指定を受けない物質を示す。

マツに発生するハダニ類

マツには主にトドマツノハダニとマツツメハダニが発生します。

ハダニはおもに葉に寄生し、口針によって植物液を吸収します。

吸液時には、二つの口針を合わせて1管として、口吻の前端から突き出して葉を刺します。

葉の裏側に寄生する種類が多いですが、表側に付くものや両側につくものもあります。

マツのハダニ類は主に新芽の葉の付け根に多く寄生しています。

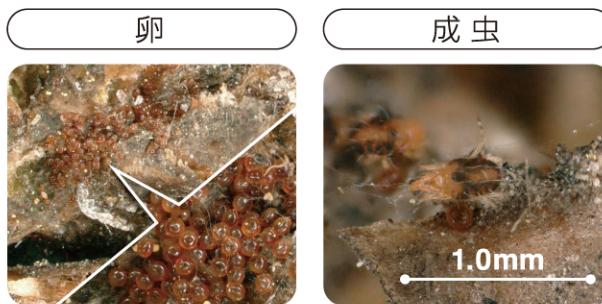
産卵は葉には行われず、新芽付近の葉の付け根や幹に多くみられます。

●トドマツノハダニ

北海道～九州、韓国、中国、台湾などに分布する。
 トドマツ、クロマツ、アカマツ、ヒノキ、トウヒなどに寄生する。4～5月に休眠卵が孵化し、葉から樹液を吸収する。6～7世代を経過し、10月頃まで活動する。休眠卵は枝や幹に産卵される。マツツメハダニも同様の生活環と思われる。
 食害痕は黄色でやがて灰色になる。食害が進むと葉全体が茶褐色となり落葉する。葉では付け根から先端部へ、苗樹では上部から株へと加害が進む。

●マツツメハダニ

クロマツやアカマツに寄生する。



適用害虫の範囲及び使用方法

2020年7月1日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミルベメクチンを含む農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノザイセンチュウ ハダニ類	胸高直径(樹幹部)		マツノマダラカミキリ 成虫発生前 まで	1回	樹幹注入
		10～15cm	60mL			
		15～20cm	60～120mL			
		20～25cm	120～180mL			
		25～30cm	180～240mL			
※30cm以上は直径5cm増すごとに60mLを増量する。					1回	

上記以外には使用しないでください。

注意事項

- 庭園松は見かけ上胸高直径に比べ材積量が少ないことから、通常の薬量より少なめに注入すること。
- 本剤は1回の注入で6年間、マツノザイセンチュウによる被害防止効果が認められているが、樹勢、周辺の被害状況などによって変動するので、再注入時期については林業関係機関、林業技術者などの指導を受けることが望ましい。
- 本剤はマツノマダラカミキリ成虫により伝播されるマツノザイセンチュウの侵入、増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリには効果がない。
- 樹脂流出に異常のある松や、葉が変色した松には治療効果がないので使用しないこと。
- 五葉松には薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
- 薬剤注入孔は、直径6.0mmのドリルで地上0.3～1m前後の樹幹部に斜め下方に向けて深さ4～5cm程度の孔とし、大きな節や横枝の直下はさけること。
- 注入孔を開けたら直ちに容器の先端を差し込み、容器の底に小孔を開けること。加圧注入器を使用する場合は、加圧注入器のノズルをしっかりと注入孔に差し込み、所定の薬液を加圧注入器に移し替えること。薬液が松の形成層に触れないように作業時に十分注意すること。
- 一樹に複数のアンブル又は加圧注入器を使用する場合は、注入孔を樹幹の周囲に分散させて注入すること。
- 薬剤注入が終了した孔は、雨水や雑菌などが侵入しないようコルク栓、木栓、癒合剤等で蓋をすること。
- 注入後の容器は速やかに回収すること。注入終了まで要する時間は樹齡、樹勢によって異なるので注意すること。通常、早いもので1時間以内、遅いもので3時間程度で完了する。
- 作業中、容器の破損を防ぐため取り扱いには慎重に行うこと。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、林業技術者等の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 使用の際は手袋を着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるが、この登録に係る使用方法では問題ない。空容器は必ず回収し、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 危険物第四類第一石油類に属するので火気には十分注意すること。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは園場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記憶しましょう。

マツガードは三井化学アグロ(株)の登録商標です。
 ※本製品は松枯れ防止樹幹注入剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
 ※本印刷物は2020年7月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

販売元



三井化学
グループ

株式会社 エムシー緑化

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-1
 TEL 03-5290-2956 FAX 03-5290-2957
 ホームページ <http://www.mc-ryokka.com>

取扱い